

種目【美術】(1/2)

調査の方法	9 開隆堂	38 光村																																																
1-(1) ・指導内容の系統性や学校段階間のつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。また、その題材の構成・配列はどのようなものであるか。	■各分野における題材数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A表現ア 描く活動</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>A表現ア つくる活動</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>A表現イ 描く活動</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>A表現イ つくる活動</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>B鑑賞中心の活動</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>・他教科等を関連付けて学習できるように、マークと内容を位置付けている。</p>	学年	1	2・3	合計	A表現ア 描く活動	4	6	10	A表現ア つくる活動	3	3	6	A表現イ 描く活動	3	8	11	A表現イ つくる活動	3	4	7	B鑑賞中心の活動	5	18	23	■各分野における題材数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A表現ア 描く活動</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>A表現ア つくる活動</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>A表現イ 描く活動</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>A表現イ つくる活動</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>B鑑賞中心の活動</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>・他教科等を関連付けて学習できるように、コラムを紹介している。</p>	学年	1	2・3	合計	A表現ア 描く活動	3	7	10	A表現ア つくる活動	3	6	9	A表現イ 描く活動	3	3	6	A表現イ つくる活動	3	4	7	B鑑賞中心の活動	5	6	11
学年	1	2・3	合計																																															
A表現ア 描く活動	4	6	10																																															
A表現ア つくる活動	3	3	6																																															
A表現イ 描く活動	3	8	11																																															
A表現イ つくる活動	3	4	7																																															
B鑑賞中心の活動	5	18	23																																															
学年	1	2・3	合計																																															
A表現ア 描く活動	3	7	10																																															
A表現ア つくる活動	3	6	9																																															
A表現イ 描く活動	3	3	6																																															
A表現イ つくる活動	3	4	7																																															
B鑑賞中心の活動	5	6	11																																															
1-(2) ・生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、その程度や分量はどのようなものであるか。	■「育てたい資質・能力」の示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材において、学習の目標を育てたい3つの柱(資質・能力)に基づいて設定している。 ・全題材において、「学習のポイント」を3つの柱の中心となるもので設定している。 	■「育てたい資質・能力」の示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材において、学習の目標を表現で1つ、鑑賞で1つを設定している。 ・全題材において、はじめとおわりに「鑑賞のポイント」と「発想や構想の手立て」を位置付けている。 																																																
2-(1) ・生徒が社会や生活と関わりながら学習したり、学習意欲を喚起したりするために、どのような題材や図版等が扱われているか。また、その分量はどのようなものであるか。	■学習意欲を奮起する素材等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漫画ページ数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>QRコード数</td> <td>25</td> <td>50</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・原寸大図版、部分拡大を掲載し、細かく繊細な表現がわかるように印刷している。</p>	学年	1	2・3	合計	漫画ページ数	0	2	2	QRコード数	25	50	75	■学習意欲を奮起する素材等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漫画ページ数</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>QRコード数</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>・書き込める資料、大判資料、版画や漫画等を本物に近い風合いの用紙に印刷している。</p>	学年	1	2・3	合計	漫画ページ数	0	8	8	QRコード数	19	24	43																								
学年	1	2・3	合計																																															
漫画ページ数	0	2	2																																															
QRコード数	25	50	75																																															
学年	1	2・3	合計																																															
漫画ページ数	0	8	8																																															
QRコード数	19	24	43																																															
2-(2) ・生徒が自分で考え、自分で学習を進められるように、学習の目標や振り返りの視点などの程度や分量はどのようなものであるか。	■学習の目標や振り返りの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材で学習の目標を設定し、生徒が自分で学習を進め、振り返りをできるようにしている。 ・全題材で「学習のポイント」を設定し、発想や構想を広げたり、問題を解決したりできるように促している。 	■学習の目標や振り返りの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材で学習の目標を設定し、生徒が自分で学習を進め、振り返りをできるようにしている。 ・全題材で「鑑賞のポイント」と「発想や構想の手立て」を位置付け、表現と鑑賞が一体的に学べるように促している。 																																																
3 ・岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなものであるか。 ・写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアを活用した活動について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなものであるか。	■岐阜県に関わる造形活動等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造形活動等数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・1年巻末資料「美術館へ行こう」で「多治見市モザイクタイルミュージアム」が紹介されている。 ・2・3年表現題材で「岐阜提灯」が紹介されている。 ・2・3年鑑賞題材で県現代陶芸美術館蔵「南蛮夢想」が紹介されている。 ■映像メディアを活用した学習 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>題材数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・1年表現題材「形と色彩のメッセージ」においてコンピュータで加工した実践が紹介されている。 ・2・3年表現題材「場と形の響き合い」においてコンピュータで合成した実践が紹介されている。 	学年	1	2・3	合計	造形活動等数	1	2	3	学年	1	2・3	合計	ページ数	3	4	7	題材数	1	1	2	■岐阜県に関わる造形活動等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造形活動等数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3年巻末資料「日本の伝統工芸」で「美濃和紙」と生徒が自分で書いた「美濃和紙でつくった卒業証書」が紹介されている。 ・2・3年巻末資料「日本の世界文化遺産」で「白川郷の合掌造りの建物」が紹介されている。 ■映像メディアを活用した学習 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>題材数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・題材としての記載ページはない。 ・1年および2・3年の題材において、モチーフの記録としてのデジタルカメラを利用した実践が紹介されている。 	学年	1	2・3	合計	造形活動等数	0	3	3	学年	1	2・3	合計	ページ数	3	12	15	題材数	0	0	0								
学年	1	2・3	合計																																															
造形活動等数	1	2	3																																															
学年	1	2・3	合計																																															
ページ数	3	4	7																																															
題材数	1	1	2																																															
学年	1	2・3	合計																																															
造形活動等数	0	3	3																																															
学年	1	2・3	合計																																															
ページ数	3	12	15																																															
題材数	0	0	0																																															
4-(1) ・教科書の大きさ、総ページ数や重量等はどのようなものであるか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きさ</td> <td>A4ワイド版</td> <td>A4ワイド版</td> <td>2冊</td> </tr> <tr> <td>総ページ数</td> <td>68</td> <td>124</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>270</td> <td>465</td> <td>735</td> </tr> </tbody> </table> <p>・A4ワイド(縦297mm、横231mm)</p>	学年	1	2・3	合計	大きさ	A4ワイド版	A4ワイド版	2冊	総ページ数	68	124	192	重量(g)	270	465	735	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きさ</td> <td>A4版</td> <td>A4版</td> <td>2冊</td> </tr> <tr> <td>総ページ数</td> <td>82</td> <td>106</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>310</td> <td>387</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table> <p>・A4(縦297mm、横210mm)</p>	学年	1	2・3	合計	大きさ	A4版	A4版	2冊	総ページ数	82	106	188	重量(g)	310	387	697																
学年	1	2・3	合計																																															
大きさ	A4ワイド版	A4ワイド版	2冊																																															
総ページ数	68	124	192																																															
重量(g)	270	465	735																																															
学年	1	2・3	合計																																															
大きさ	A4版	A4版	2冊																																															
総ページ数	82	106	188																																															
重量(g)	310	387	697																																															
4-(2) ・印刷の状況(鮮明度や美しさ)、UDフォント、配色やレイアウト等について、障がいその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・製本は、糊付け、見返し付き、表紙はビニール加工をすることで堅牢になっている。 ・印刷インキのギラツキを抑え、発色の鮮やかな用紙を使用している。 ・カラーユニバーサルについて専門家から監修を得ており、本文はUDフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製本は、堅牢で、生徒が開きやすいようになっている。 ・通常は発色の良いコート紙、版画等では風合いのある用紙、そして、作品への書き込みを補助するようにトレーシングペーパーを使用している。 ・カラーユニバーサルについて専門家から監修を得ており、本文はUDフォントを採用している。 																																																
4-(3) ・目次、索引、注、凡例や巻末資料等について、どのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の最初に学習の意味がわかる扉ページがあり、生徒が全題材への見通しをもって学べるようになっている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻末資料(頁)</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3	合計	巻末資料(頁)	16	17	33	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材の中は「鑑賞→表現→鑑賞」で構成され、表現と鑑賞を一体的に学べるようになっている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻末資料(頁)</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3	合計	巻末資料(頁)	24	28	52																																
学年	1	2・3	合計																																															
巻末資料(頁)	16	17	33																																															
学年	1	2・3	合計																																															
巻末資料(頁)	24	28	52																																															

種目【美術】(2/2)

調査の方法	116 日文																																		
1-(1) ・指導内容の系統性や学校段階間のつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。また、その題材の構成・配列はどのようなものであるか。	■各分野における題材数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A表現ア 描く活動</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>A表現ア つくる活動</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>A表現イ 描く活動</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>A表現イ つくる活動</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>B鑑賞中心の活動</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科等を関連付けて学習できるように、事例と題材を取り上げている。 					学年	1	2・3上	2・3下	合計	A表現ア 描く活動	5	4	5	14	A表現ア つくる活動	3	3	3	9	A表現イ 描く活動	4	3	2	9	A表現イ つくる活動	3	4	5	12	B鑑賞中心の活動	5	6	5	16
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
A表現ア 描く活動	5	4	5	14																															
A表現ア つくる活動	3	3	3	9																															
A表現イ 描く活動	4	3	2	9																															
A表現イ つくる活動	3	4	5	12																															
B鑑賞中心の活動	5	6	5	16																															
1-(2) ・生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、その程度や分量はどのようなものであるか。	■「育てたい資質・能力」の示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材において、学習の目標を育てたい3つの柱(資質・能力)に基づいて具体的に設定している。 ・全題材において、図版を指して〔共通事項〕の内容を促す「造形的な視点」を位置付けている。 																																		
2-(1) ・生徒が社会や生活と関わりながら学習したり、学習意欲を喚起したりするために、どのような題材や図版等が扱われているか。また、その分量はどのようなものであるか。	■学習意欲を奮起する素材等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漫画ページ数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>QRコード数</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・原寸大図版、高精細印刷の浮世絵図版、屏風を立てられる厚い用紙に印刷している。 					学年	1	2・3上	2・3下	合計	漫画ページ数	5	2	4	11	QRコード数	30	9	8	47															
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
漫画ページ数	5	2	4	11																															
QRコード数	30	9	8	47																															
2-(2) ・生徒が自分で考え、自分で学習を進められるように、学習の目標や振り返りの視点などの程度や分量はどのようなものであるか。	■学習の目標や振り返りの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・全題材で学習の目標を設定し、生徒が自分で学習を進め、振り返りをできるようにしている。 ・全題材で図版を指して「造形的な視点」を位置付け、造形的な見方・考え方を働かせて学習できるように促している。 																																		
3 ・岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなものであるか。 ・写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアを活用した活動について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなものであるか。	■岐阜県に関わる造形活動等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造形活動等数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・1年巻末資料「美術館へ行こう」で「多治見市モザイクタイルミュージアム」が紹介されている。 ・2・3下の巻末資料「日本の世界文化遺産」で「白川郷」が紹介されている。 ■映像メディアを活用した学習 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>題材数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3上表現題材「その一枚が人を動かす」においてコンピュータを使ったポスター制作が紹介されている。 ・2・3下表現題材「動きを生かして印象的に」においてコンピュータで画像や動画を編集した実践が紹介されている。 					学年	1	2・3上	2・3下	合計	造形活動等数	1	0	1	2	学年	1	2・3上	2・3下	合計	ページ数	10	13	6	29	題材数	0	1	1	2					
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
造形活動等数	1	0	1	2																															
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
ページ数	10	13	6	29																															
題材数	0	1	1	2																															
4-(1) ・教科書の大きさ、総ページ数や重量等はどのようなものであるか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きさ</td> <td>A4ワイド版</td> <td>A4ワイド版</td> <td>A4ワイド版</td> <td>3冊</td> </tr> <tr> <td>総ページ数</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>62</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>334</td> <td>291</td> <td>271</td> <td>896</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・A4ワイド(縦297mm、横231mm) 					学年	1	2・3上	2・3下	合計	大きさ	A4ワイド版	A4ワイド版	A4ワイド版	3冊	総ページ数	76	66	62	204	重量(g)	334	291	271	896										
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
大きさ	A4ワイド版	A4ワイド版	A4ワイド版	3冊																															
総ページ数	76	66	62	204																															
重量(g)	334	291	271	896																															
4-(2) ・印刷の状況(鮮明度や美しさ)、UDフォント、配色やレイアウト等について、障がいその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・製本は、見返し付きのあるあじろ綴じで、表紙は耐水性のあるコーティングを施すことで堅牢になっている。 ・良質コート紙が採用され、実感的な鑑賞ページには厚手コート紙が採用されている。 ・カラーユニバーサルについて専門家から監修を得ており、本文はUDフォントを採用している。 																																		
4-(3) ・目次、索引、注、凡例や巻末資料等について、どのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・全題材で、3つの柱を基にした具体的な目標と〔共通事項〕への気づきを促す「造形的な視点」が設定されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻末資料(頁)</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>					学年	1	2・3上	2・3下	合計	巻末資料(頁)	18	16	10	44																				
学年	1	2・3上	2・3下	合計																															
巻末資料(頁)	18	16	10	44																															